

スマホの適切な利用法指導

南箕輪中でコマレンジャー



スマートフォンの適切な利用方法を指導したコマレンジャー同好会員ら

県警のサイバーボランティアとして活動する駒ヶ根工業高校コマレンジャー同好会が25日、南箕輪村南箕輪中学校を訪れ、生徒たちにスマートフォンの適切な利用方法を指導した。ネット交流サイト(NS)などがはらむ危険性を具体例を挙げて解説。全校生徒約470人が聴講し、利用時の心構えなどについて熱心に聞き入った。

講師を務めたのは同好会員6人。普段はご当地ヒーロー「コマレンジャー」に「身」しているが、この日は作業着姿で登壇。最新の犯罪情

勢などを話題に取り入れながら説明した。インターネット上の架空請求詐欺、ウイルスの危険性、出会い系トラブルなどについて解説。不特定多数が閲覧できるネットについて、掲載した個人情報などをから、身元が特定されてしまう怖さを指摘。「画像を掲載する際は個人情報が映り込まないように注意して」となどと呼び掛けた。

同好会の田中昂会長(17)は「身近なところに潜む怖さが、中学生に伝わっていたら良いですね」と話した。

(寺田英祥)



ご購読ありがとうございます

11月26日 (火)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000代

©長野日報社2019